

京都府立医科大学附属病院で臨床研究を受けられた患者様・ご家族の皆様へ

## 腸内細菌叢に関する研究へのご協力をお願い

今回、京都府立医科大学消化器内科学教室では、腸内細菌叢に関する研究「カロテノイド摂取に伴う腸内細菌叢変容に関する検証」を実施いたします。本研究は、過去に実施された下記の研究でご提供いただいた糞便を用いて解析を行います。

- ①『「京くれない」ニンジンに含まれるカロテノイド類の生体調節機能に着目した抗メタボ食品提供技術の開発とその効果の実証研究』
- ②『ケール「TCL-499」に含まれるカロテノイド類の生体調節機能に着目した抗メタボ食品提供技術の開発とその効果の実証研究』

### 研究の目的

食生活の欧米化や急速に進む高齢化によって、メタボリックシンドローム等のリスクが増加し、生活習慣病によるQOL（生活の質）の低下や医療・介護費用の増加等が社会問題となっています。このため、健康維持・増進、生活習慣病のリスク低減に有効な機能性成分を含む食品や、これらを用いた素材開発へのニーズが高まっており、機能性成分を含む野菜が注目されています。これまでに私どもは、上記の2試験を通じて、野菜に含まれるカロテノイド類（カロテン、リコピン、ルテインなど）摂取によるメタボリックシンドローム予備群の方の内臓脂肪レベルが改善する可能性があることを検証してきました。

一方、最近の研究ではこれらの生活習慣病では腸内細菌の影響を受けていることが報告されています。確かに、これまでも食物繊維の摂取などで『善玉菌』と言われる、身体にいい影響を及ぼす菌が増加し、生活習慣病予防効果がもたらされる可能性が報告されてきました。しかしながら、カロテノイド類の摂取に伴う腸内細菌の解析は余り実施されていないのが実情です。そこで本研究では、過去に実施された下記の研究でご提供いただいた糞便を用いて解析を行う予定としています。

### 研究の方法

#### ・研究対象となる方について

下記2試験に参加頂いた際に提供頂いた糞便を用いて解析を行います。

（研究期間は平成30年6月30日までを予定しています。）

- ①『「京くれない」ニンジンに含まれるカロテノイド類の生体調節機能に着目した抗メタボ食品提供技術の開発とその効果の実証研究』

（2015年3月31日～6月27日実施、UMIN:R000019330）

②『ケール「TCL-499」に含まれるカロテノイド類の生体調節機能に着目した抗メタボ食品提供技術の開発とその効果の実証研究』

(2015年7月27日～10月24日実施、UMIN:R000018206)

・方法について

糞便を用いて腸内細菌の解析を行います。解析は糞便から腸内細菌の遺伝子を抽出して、菌の種類を解析します。この解析は検査機関である株式会社テクノスルガラボ、株式会社ファスマックでの実施を予定しています。また、その結果は共同研究機関である京都府立大学生命環境科学研究科（研究者；井上亮講師）により詳細に解析される予定です。

・資料の管理について

情報はすべて匿名化され、個人が特定されることはありません。また、研究発表が公表される場合でも個人が特定されることはありません。

試料・情報が当該研究に用いられることについて、研究対象者様もしくは研究対象者様の代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、平成29年12月31日までに下記の連絡先（研究責任者：高木智久）までお申し出ください。その場合でも患者様に不利益が生じることはありません。なお、上記期日までに申し出がなかった場合には、参加を了承していただいたものとさせていただきます。

ご希望があれば、個人情報の保護及び本研究の独創性の確保に支障がない範囲内で、研究計画及び研究の方法に関する資料を入手又は閲覧することができます。その場合は、下記連絡先までご連絡をお願いします。

本研究は、京都府立医科大学医学倫理審査委員会において、適切な研究であると承認されています。なお、共同研究機関においても倫理審査委員会の承認を受けています。

この研究計画についてご質問がある場合は下記までご連絡ください。

連絡先

京都府立医科大学 医療フロンティア展開学

職・氏名 准教授・高木智久

電話：075-251-5519（消化器内科内）